



3. 11

東日本大震災は、15年前の2011年3月11日 午後2時46分、宮城県沖を震源地として発生し、最大震度7を観測した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う福島第一原子力発電所事故などによる大規模な地震災害のことです。この地震による大津波等で15,901人の尊い命が失われ、2,519人が今も行方不明となっています。また、15年たった現在も被災地の復興は道半ばであり、今なお26,281人が避難生活を強いられています。

昨日、地震が発生した時刻に合わせ、現在も復興に取り組む被災地の方々に思いを寄せながら犠牲者の方々の冥福を祈り、1分間の黙とうを行いました。

この大震災は、現在の中学生が0歳、または生まれる前の出来事であり、年々、知らない人が増えてきています。この出来事をニュース等の報道で知る歴史上の自然災害とし、教訓を風化させてはいけません。これからの人もこの教訓から命を守ることを学び、今後も起こりうる震災に活かしていくことが大切です。

非難訓練等を通して、分かっているかもしれませんが、もし、大地震が来たら慌てず・・・

①自分の命を守る

自分の命を守ることが最優先。自分が助かって初めて他人を助けられます。頭部を守って、丈夫な机等の下へ。慌てて外へ飛び出すと、ガラスなどの落下物が危険です。安全を確保した上で、冷静に次の行動を考えましょう。

②火を消す

無理せず、揺れがおさまってから火の始末をしましょう。慌てず行動することが大切です。

③高い所へ

海岸等の近くでは津波に注意。様子見をせず、すぐ高台に避難しましょう。

④助け合う

自分の安全を確保した上で、助け合うことは重要です。倒れている人がいたら助け起こし、応急手当ができる状況なら止血など簡単な手当をします。自分本位な行動は混乱のもとになります。順番や決まりを守り、協力することが必要です。

⑤デマに注意

地震直後は、ネット上にデマが出回ることがあります。避難指示、避難場所、被害状況などの情報がデマであった場合、信じてしまうことや拡散してしまうことは危険です。ラジオやテレビ、自治体等発信元の確かな情報を得ることを心がけましょう。

※日本財団広告参照

東日本大震災後も熊本地震や能登半島沖地震など、各地に甚大な被害をもたらした地震のみならず、大規模な気候変動により多発する自然災害への防災や減災、被災後の復興・復旧に対し、何ができるかを考え、行動できるようになってもらいたいと思っています。

なお、昨年合唱祭で3年1組が歌った「群青」、この歌は、東日本大震災で大きな被害を受けた福島県南相馬市立小高(おだか)中学校の音楽の先生が直接的な震災の言葉を避け、震災によって友人を失ってしまった悲しみと、原発事故によって離れ離れになった仲間を想い綴った生徒の作文や日記、会話等から言葉を拾い集め、つなぎ合わせた歌詞に作曲し、平成24年度卒業式で歌ったものだそうです。

人権教育講演会

3月6日(金)レインボーさいたまの会 代表理事 鈴木翔子 様をお迎え、「LGBTQとは?多様性とは?」と題し、講演いただきました。

LGBTQとは、性的少数者や性の多様性を表す総称で、Lesbian(女性同姓愛者)、Gay(男性同姓愛者)、Bisexual(両性愛者)、



Transgender（出生時の性別と自認する性別が一致しない人）、Questioning（性別を決められない、決めたくない人など）の頭文字から成り立っているという基本的なことからセクシュアリティ（性のあり方）を決めるのは、①身体的性（出生時に医師に決められた性） ②性自認（自分で認識している性） ③性的指向（恋愛等の感情がどの性別に向くか、向かないか） ④性表現（社会的にどのように性別を表現するか、振舞うか）の4つの要素であり、この組み合わせによって多様な性のあり方が存在しますとも話されていました。また、以前の講演会で「性の多様性は必要ですか？」「LGBTQ について、知る必要があるのでしょうか？」という質問に対し、「既にある事実であり、知っておいて欲しいことです。」、また「LGBTQ の人が差別されてしまうのは、なぜですか？」という質問に対し、「そのことについて、知らないからです。」と答えたそうです。

さらに、カミングアウト（自分の性のあり方を自覚し、それを他者に開示すること）を受けた時・相談された時、①相手の話を聞く ②LGBTQ は良いことでも悪いことでもない ③判断するのではなく相手に寄り添う ことが大切なことだと話していました。その際、カミングアウトをした相手にして欲しいことは、①話を聞いて欲しい ②気持ちや状況を理解して欲しい ③支援して欲しい ことだと話していました。

この講演会で全てのことを理解し、正しい知識を身に付けるのは難しいと思います。ただ、少しでも理解したり、知識を身に付けて欲しいと思っています。趣味も考え方も価値観など全てが同じ人は誰一人としていません。自分と違った考え方や価値観等を持った人を認め合い、尊重し合うことが大切です。

学校運営協議会

2月9日（月）学校運営協議会が開催されました。学校運営協議会とは、学校の運営への必要な支援に関して、保護者や地域住民の参画と協力を推進し、連携の強化を図ることにより、相互の信頼関係を深め、一体となって学校の運営、そして生徒の健全育成に取り組むことを目的として、設置されたものです。学期に1回開催され、今回が今年度最後の協議会でした。生徒や保護者等の学校評価アンケートや授業参観をもとに、今年度の学校運営全体について、委員の方から以下のような評価や意見をいただきました。

- ・生徒は楽しく学校生活を送っている。
- ・おがわ学の成果物が掲示してあり、生徒のやる気に繋がる。
- ・体育祭では、生徒と先生のコミュニケーションがとられ、関係性の良さが伺えた。
- ・東小川団地の高齢率が高くなってきている。中学生にも除草作業に参加してもらえると嬉しい。
- ・SPR が開設され、生徒が来やすくなったのではないかな。
- ・親とすると、家を出て学校へ行ってくれることが親としては嬉しいので、SPR はよい取組だと思えます。
- ・避難訓練、様々な状況を想定して実施しているようで良かった。
- ・叱り方と教え方を工夫して欲しい。子どもには無限の可能性がある。
- ・合唱祭、毎年、感動させて貰っている。「やればできる」
- ・校則の見直し、必要に応じて変更しているようで良かった。
- ・道徳教育はモラル教育であり、道徳教育をさらに充実させて貰いたい。
- ・高校の先生や慶応高校野球部 OB の方の話など外部から子どもの学びとなる機会を準備していただき、とても良かった。
- ・ゆくゆくは小川中学校と統合するので PTA 同士も情報交換の場があると良いのではないのでしょうか。
- ・令和12年度には統合されるが、今いる生徒のために最大限の措置を講じて欲しい。
- ・教科は違っていても先生同士で授業を見合うのは、授業力向上になると思います。

おめでとうございます

○埼玉県中学生都市対抗学年別ソフトテニス大会 第2位 ○○○○・○○○○組
○比企郡野球大会 第1位